

人権情報プラザ 新着図書一覧（令和7年7月登録分）



どなたでもご利用できます。
お気軽にお立ち寄りください。（県庁舎別館 1）

番号	書籍名	出版社	著者	出版年	分野	あらすじ
1	カフネ	講談社	阿部 暁子	2024	人権総論（一般）	2025年本屋大賞受賞作。 一緒に生きよう。あなたがいると、きっとおいしい。やさしくも、せつない。この物語は、心にそっと寄り添っている。法務局に勤める野宮薫子は、溺愛していた弟が急死して悲嘆にくれていた。弟が遺した遺言書から弟の元恋人・小野寺せつなに会い、やがて彼女が勤める家事代行サービス会社「カフネ」の活動を手伝うことに。弟を亡くした薫子と弟の元恋人せつな。食べることを通じて、二人の距離は次第に縮まっていく。
2	なぜヒトだけが幸せになれないのか	講談社	小林 武彦	2025	人権総論（一般）	『生物はなぜ死ぬのか』では死の意味を、『なぜヒトだけが老いるのか』では老いの意味を生物学的に考察してきた著者によるシリーズ最新作。第三弾となる本書のテーマは「幸せ」。生物の中でも、ヒトは「ある変化」を機に幸せに生きにくくなったという。その理由とはなにか。幸せに生きる方法はないのか。生物学から「ヒトが生きている意味」を考える。生物学的な価値観から「幸せ」＝「死からの距離が保てている状態」と定義してみます。この定義に当てはめて現状を考えると、何がヒトの幸せの妨げになっているのかが見えてきました。意外なことにその原因の一つは、私たちの細胞一つ一つに存在する「遺伝子」にあったのです。――「はじめに」より
3	ドロシーマンション（絵本）	303 BOOKS	カヒジ/加藤 慧	2025	人権総論（一般）	作者のカヒジさんは、女性であり、アジア人であり、LGBTQ＋コミュニティの一員であると自認しており、差別や憎悪に何度も直面してきました。本書は、そんな作者自身の経験や、自分らしく生きていることを他人から否定されなければならなかった無数の人々の声を元にして生みだされました。異なる肌の色や多様なアイデンティティを持つ人々が自分らしく、好きなことを自由に楽しめる世界へのあこがれを込めて作られた、カヒジさんにとって初めての絵本となります。切り絵とイラストを組み合わせることで表現された、色彩豊かで温もりのある美しい世界をお楽しみください。
4	あrika	水鈴社	瀬尾 まいこ	2025	人権総論（一般）	著者は、『そして、パトンは渡された』で本屋大賞を受賞。 母親との関係に悩みながら、一人娘のひかりを慈しむシングルマザーの美空。義弟で同性のことが好きな颯斗は、兄と美空が離婚した後も何かと二人の世話を焼こうとするが――『そして、パトンは渡された』『夜明けのすべて』などで人々のかけがえのない関係を紡ぎ続けた瀬尾まいこが描く、あなたの小さな、でも確かな支えとなる感動の物語！
5	世界99（上）	集英社	村田 沙耶香	2025	人権総論（一般）	著者は、2016年「コンビニ人間」で芥川賞受賞。 本作は、発売即大重版。 性格のない人間・如月空子。彼女の特技は、“呼応”と“トレース”を駆使し、コミュニティごとにふさわしい人格を作りあげること。「安全」と「楽ちん」だけを指標にキャラクターを使い分け、日々を生きて延びてきた。空子の生きる世界には、ピョコルンがいる。ふわふわの白い毛、つぶらな黒い目、甘い鳴き声、どこをとってもかわいい生き物。当初はベットの過ぎない存在だったが、やがて技術が進み、ピョコルンがとある能力を備えたことで、世界は様相を変え始める――。性格のない「からっぽ」の空子の一生と人間社会の終着点を描いた、全世界注目目のディストピア大長編！
6	世界99（下）	集英社	村田 沙耶香	2025	人権総論（一般）	14年前、「リセット」を経験した人類は混乱の最中にあった。しかしラロリン人の考えた「人間リサイクルシステム」がうまく機能し、やがて社会は再生を迎える。そして49歳になった空子は「クリーンな人」として、美しく優しい世界を生きている。「クリーン・タウン」の実家に戻り、同級生の白藤遙とその娘・波とともに。ようやく訪れた穏やかな社会の中心には、さらなる変貌を遂げたピョコルンがいた。都合の良い「道具」・ピョコルンを生み出した果てに人類が到った極地とは。村田沙耶香の全てが詰まった新たな代表作。
7	あらがうドラマ―「わたし」とつながる物語	303 BOOKS	西森 路代	2025	人権総論（一般）	ままならない日常に抗うために今見るべきドラマがここにある！日々目まぐるしく変化する価値観や社会のあり方をとらえた23作品について、さまざまな切り口から書き尽くす。『虎に翼』の脚本家、吉田恵里香氏との対談も収録！
8	彼女はNOの翼を持っている〈2〉（マンガ）	双葉社	ツルリノゴスター	2025	人権総論（一般）	“勉強したくない”“好きな人にダサいって思われたくない”そして、自分の意志とは違うの？自分を本当に大切にすると、どういふこと？まわりの空気を読んでNOと言えない海津と、まわりと自分のNOを大切にすると、正反対なふたりと、それを見守る大人たちの、NOをめぐる物語。
9	女性政治家が増えたら何がかわるのか	集英社	秋山 訓子	2025	女性	今、「女」が選挙で勝つためのキーコンテンツになりつつある！？与野党を問わず、政治家は女性の存在と女性にまつわる政策を“頼みの綱”にしているのだ。日本の政治がいかに変わりつつあるのか。女性初の朝日新聞政治部次長を務めた著者が、海外の事例を含めて丹念に取材し、データとともにひもとく。多様化が進んだ現代では政治家も多様性が求められており、分断を広げるだけでは真の男女平等につながらない。女性政治家が増えれば“誰もが”生きやすい社会になるということを可視化する、新しい論点。
10	YABUNONAKA―ヤブノナカ	文藝春秋	金原 ひとみ	2025	女性	性被害の告発が開けたパンドラの箱。文芸誌元編集長の木戸悠介。その息子で高校生の越山恵斗、編集部員の五松、五松が担当する小説家の長岡友梨奈、その恋人、別居中の夫、引きこもりの娘。ある女性がかつて木戸から性的搾取をされていたとネットで告発したことをきっかけに、加害者、被害者、その家族や周囲の日常が絡みあい、うねりはじめる。出版界を舞台に性、権力、果力、愛につき動かされる人間たちのドラマは予想もつかないクライマックスへ――。
11	熟柿	KADOKAWA	佐藤 正午	2025	女性	『月の満ち欠け』（直木賞受賞）著者による最新長編小説。 激しい雨の降る夜、眠る夫を乗せた車で老婆を撥ねたかおりは、轢き逃げの罪に問われ、裁判中に息子、拓を出産する。出所後息子に会いたいがあまり、園児連れ去り事件を起こした彼女は息子との接見を禁じられ、追われるように西へ西へと各地を流れてゆく。自らの罪を隠して生きる彼女にやがて、過去にまつわるある秘密が明かされる。

番号	書籍名	出版社	著者	出版年	分野	あらすじ
12	フィンランドの高校生が学んでいる人生を変える教養	青春出版社	岩竹 美加子	2024	子ども	世界幸福度ランキングで、7年連続1位に輝いたフィンランド。フィンランドの学校には「良く生きるための授業」がある。それが、心理学、社会学、政治学、哲学など、様々な分野を横断しながら、自分の人生観を育むための知識と教養を得る「人生観の知識の授業」。「良い人生って何?」「生きる意味はどこにある?」などの問いに向き合いながら、自分だけの答えを探すフィンランド独自の授業、そしてその教科書から、幸せに生きるヒントを探る。
13	救われてんじゃねえよ	新潮社	上村 裕香	2025	子ども	主人公の沙智は、難病の母を介護しながら高校に通う17歳。「わたしは不幸自慢スカウターで言えば結構戦闘力高めなんだと思う」そんな彼女に舞い降りたのは、くだらない奇跡だった。女による女のためのR-18文学賞大賞受賞作。
14	リエゾン〈20〉－こどものこころ診療所(マンガ)	講談社	竹村優作/ヨンチャン	2025	子ども	大人も子供も生きづらさを抱える現代。悩める親子に向き合う“児童精神科医”を描く、新たな医療漫画の最新作。2023年度TVドラマ化。第20巻は「担当患者」「グループホーム」「緩和ケア」の3編を収録。
15	C線上のアリア	朝日新聞出版	湊 かなえ	2025	高齢者	中学生の時に両親を事故でなくした美佐は、叔母に引き取られ、高校時代を山間部の田舎町で過ごす。それから約30年、叔母に認知症の症状が見られると役場から連絡があり、懐かしい故郷を訪れる。かつて、美しく丁寧に暮らしていた家はごみ屋敷と化していた。片付けを進めていくと、当時の恋人から借りた本を見つける。あったかもしれない未来をのぞき見るような思いで、本を返しに行った美佐は、衝撃的な場面を目撃する。担い手となった女性たちの心の声が響く介護ミステリ。
16	早合点認知症—長生きするなら知っとこう	サンマーク出版	内田 直樹	2025	高齢者	名医たちが認知症の“見立て”を学びにくる認知症専門医が、人生100年時代に無関心ではいけない認知症の「本当の話」をします。「恐れる」認知症から、「備える」認知症へと変わる「新しい認知症観」について現場を知り尽くす専門医がていねいに解説しました。
17	子どもを完全克服に導く アヤコ式拒食症改善メソッド	幻冬舎メディアコンサルティング	赤松 史子	2023	医療	著者は、拒食症克服専門カウンセラー。2008年、この病気は一生治らないと医師に見放された愛娘の拒食症を6カ月で克服に導き、医師からは信じられないと驚がくされる。この経験から母親の関わり方を変えることで子どもの拒食症を克服に導く「アヤコ式メソッド」を独自に開発する。
18	きょうの診察室—子どもたちが教えてくれたこと	南山堂	山口 有紗	2025	医療	著者は、子どものこころ専門医で、現在は子供の虐待防止センターに所属。診察室で子どもやその周囲の方々から学んだことや気づきを綴ったエッセイ。調布市のパラアート展示会に持ち寄られた素敵なアート作品を散りばめて・・・
19	Shrink～精神科医ヨワイ～〈15〉(マンガ)	集英社	七海仁/月子	2025	医療	令和6年8月、中村倫也主演でNHKでドラマ化。精神科クリニックを舞台にした医療マンガ。「光の海、再生の家」編、完全収録!!
20	胚培養士ミズイロ〈7〉(マンガ)	小学館	おかざき真里	2025	医療	『阿・咩』『サブリ』のおかざき真里が描く、不妊治療の現場で働くスペシャリストたちの医療ドラマの最新作。「カルテの番人・クラーク編」や「産み月コントロール編」も収録!
26	娘の強迫症:巻き込みの渦が消えるまで—三十年の道のりとrTMS療法との出会い	星和書店	宇沢 あき代	2024	障がい	三十余年の道程を強迫症の娘と共に歩んだ著者自身の、母としての体験に基づくストーリー。強迫症(強迫性障害)の渦に巻き込まれ、もがく母と娘。反復磁気刺激(rTMS)療法との出会いがもたらすものとは—。
21	部落フェミニズム	エトセトラブックス	熊本 理抄【編著】	2025	部落差別(その他)	存在を可視化する。部落女性9人による生きるための実践と思想。部落女性の声が聞こえないとしたら、それは聞いてこなかったからだ。被差別部落をルーツに持つ女性たちが、それぞれの研究や活動現場から「部落」を語り直す、これまでなかったフェミニズムの書。
22	部落問題と向きあう若者たち2	解放出版	内田 龍史	2025	部落差別(その他)	部落問題と向きあっている若者たちが、どのように部落問題と出会い、経験をし、今どう考えているのか。若者インタビュー集・第二弾。
23	黒いイギリス人の歴史忘れられた2000年	講談社	平田雅博	2025	外国人	「黒いイギリス人」とは、Black Britishの訳語である。「黒人のイギリス人」である彼らは、歴史に翻弄されながらも、「白いイギリス人と女王様の国」では忘れられた存在だった。長期的かつグローバルな視点で、その移動と混合の歴史をたどり、社会的マイノリティの共生の道をさぐっていく。
24	マンガでわかる!発達障害とグレーゾーンの人が見ている世界大全	文響社	柏 淳【著】/工藤 ぶち【マンガ】	2025	障がい	発達障害とグレーゾーンの人が生きる世界をマンガでわかりやすく紹介!理由がわかれば周囲も本人も学校 職場 家庭 交友での生きづらさが楽になる!人間関係も仕事も人生ももっとうまくいく!
25	まいまいつぶろ	幻冬舎	村木 嵐	2025	障がい	口がまわらず、誰にも言葉が届かない。歩いた後には尿を引きずった跡が残るため、まいまいつぶろと呼ばれ、蔑まれた第九代将軍・徳川家重。常に側に控えるのは、ただ一人、彼の言葉を解する何の後ろ盾もない小姓・兵庫だった。「もう一度生まれても、私はこの身体でよい。そなたに会えるのなら」—。二人の絆を描く、落涙必至の傑作歴史小説。第170回直木賞候補作。第13回本屋が選ぶ時代小説大賞受賞。第12回日本歴史時代作家協会賞作品賞受賞。
27	すきっていわなきゃだめ?(絵本)	岩崎書店	辻村 深月【作】/今日マチ子【絵】/瀧井 朝世【編】	2019	性の多様性	「すきなひといいの?」とみっちゃんにきかれた。わかんないっていったけど、ほんとうはこうくんがすき。辻村深月と今日マチ子が描く、みずみずしい「好き」の風景。
28	死刑について私たちが知っておくべきこと	筑摩書房	丸山 泰弘	2025	その他の人権	死刑制度に「なんとなく」で賛成または反対していませんか。罪罪があれば取り返しのつかない「究極の刑罰」にもかかわらずその実態は知られておらず、十分な議論もなされていない。日本の死刑制度とその運用にはどのような問題があるのか、維持するのならどうあるべきか、考えるための材料を示す。

番号	書籍名	出版社	著者	出版年	分野	あらすじ
29	あきらめない－働く女性に贈る愛と勇気のメッセージ（新装版）	日経BP	村木厚子	2025	その他の人権	霞が関を上り詰めた「働く女性の希望の星」が突如、公文書偽造支持の容疑で逮捕。164日間の交流のあと、無罪を獲得。極限状態の中、彼女が決して屈しなかった理由とは、どんなことが起こっても必ずリカバリーできる。
30	まさか私がクビですか？—なぜか裁判沙汰になった人たちの告白	日経BP	日本経済新聞「揺れた天秤」取材班【著】	2025	その他の人権	法廷で次々明らかになる、本当にあった怖い話……◎パパ活なのか、恋なのか？ 会社役員が「恋人」と信じた女子高生には「本当の彼氏」がいた◎泥酔で失った商社内定。入社歓迎会で吐いた「記憶にない暴言」の重過ぎる代償◎銀行副店長が解雇されたあまりにも些細な理由。洗剤の試供品を持ち帰ったら「窃盗」に？……積水ハウス「地面師事件」にソフトバンク部長の隠れ副業、有名企業の社員も例外ではなく、私たちの日常は意外に怖い。身につまされて学びになるリーガル・ノンフィクション。日本経済新聞電子版の人気連載を書籍化。
31	踊りつかれて	文藝春秋	塩田 武士	2025	その他の人権	首相暗殺テロが相次いだあの頃、インターネット上にももう一つの爆弾が落とされていた。ブログに突如書き込まれた【宣戦布告】。そこでは、SNSで誹謗中傷をくり返す人々の名前や年齢、住所、職場、学校……あらゆる個人情報が晒された。ひっそりと、音を立てずに爆発したその爆弾は時を経るごとに威力を増し、やがて83人の人生を次々と壊していった。 彼らを追いつめたもの、それは——。 言葉が異次元の暴力になるこの時代。不倫を報じられ、SNSで苛烈な誹謗中傷にあったお笑い芸人・天童ジョージは自ら死を選んだ。ほんの少し時を遡れば、伝説の歌姫・奥田美月は週刊誌のデタラメに踊らされ、人前から姿を消した。
32	蔦屋重三郎 江戸文化の仕掛け人	中央公論新社	(株)グレイル編集	2024	その他	NHK大河ドラマ「べらぼう」のガイド本。 吉原に生まれ育ち、地の利を生かして戯作者や狂歌師などとの人脈を築き上げ、江戸を代表する地本問屋にのし上がった蔦谷重三郎。幕府の弾圧に抗いながらも、ウタマロや写楽などの浮世絵師を見出し、時代を風刺する黄表紙などを出し続けた。その生涯を追う。